日本褥瘡学会の実態調査協力に伴う情報公開（オプトアウト）について

当院では、医療の質向上を目的として「日本褥瘡学会実態調査」へ協力しております。

本調査は診療情報（カルテ）からのデータ収集により行うため、患者様へ新たな検査や費用などのご負担をおかけすることはございません。

1. 調査対象となる方

2025 年 10 月に当院で褥瘡（じょくそう）の治療・ケアを受けられた患者様

2. 調査内容・方法

診療記録（カルテ）からの情報収集

3. 研究参加の拒否（オプトアウト）について

本調査への参加をご希望されない場合は、2026 年 11 月 30 日（月）までに下記担当窓口までご連絡ください。参加を拒否された場合でも、今後の診療において不利益を被ることは一切ございません。

※詳細につきましては、別紙「研究実施に関する情報公開」をご覧ください。

【お問い合わせ・拒否のお申し出窓口】

病院代表電話：088-878-3377
担当：看護部　病棟看護師　今井

研究実施に関する情報公開

当施設では、下記の研究に協力しています。

本研究は藤田医科大学医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

患者さま、または患者さまの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、研究対象から除外させていただきます。下記の問合せ先までご連絡ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方に不利益が生じることはありません。本研究に関するご質問等がありましたら下記の問い合わせ先まで連絡下さい。

なお、参加を拒否する場合は、9月30日までにお申し出ください。それ以降になりますと、情報が匿名化されて個人が特定できず、参加を辞退できない場合がありますことを、あらかじめご了承下さい。

研究課題名	療養場所別褥瘡の有病率、有病者の特徴、部位・重症度およびケアと局所管理の全国調査
研究機関名	藤田医科大学
研究代表者	須釜淳子（藤田医科大学保健衛学部・教授／日本褥瘡学会・理事長）
本学の研究責任者	須釜淳子（藤田医科大学保健衛学部・教授／日本褥瘡学会・理事長）
研究組織	一般社団法人日本褥瘡学会実態調査として実施する多機関共同研究です。また、本研究は300床以上の病院、介護保険施設、訪問看護ステーションを対象とする第6回実態調査と300床未満の病院を対象とする調査の2つで構成されます。 ＜第6回実態調査＞ 研究代表機関 藤田医科大学　保健衛生学部・教授／日本褥瘡学会・理事長／須釜淳子 藤田医科大学　研究責任者 保健衛生学部　教授　須釜淳子 共同研究機関 徳島大学医学部　形成外科　責任者：准教授　安倍吉郎 分担者：教授　橋本一郎 奈良県立医科大学医学部看護学科　責任者：教授　石澤美保子 分担者：西林直子 石川県立看護大学　責任者：教授　紺家千津子 分担者：北村言、石井光子 聖マリアンナ医科大学皮膚科　責任者：主任教授　門野岳史 社会医療法人大道会 森之宮病院看護部　責任者：看護師　正壽佐和子 医療法人 重工記念長崎病院形成外科　責任者：部長　田中克己 東京大学大学院医学系研究科　責任者：教授　仲上豪二朗 分担者：森田光治良 岩手県立中部病院形成外科　責任者：形成外科長　樋口浩文 市立函館病院看護部　責任者：看護師　水木猛夫 群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学　責任者：教授　茂木精一郎

	＜300 床未満の病院を対象とする調査＞ 研究代表機関 藤田医科大学　保健衛生学部・教授／日本褥瘡学会・理事長／須釜淳子 藤田医科大学　研究責任者 保健衛生学部　教授　須釜淳子 共同研究機関 小倉第一病院形成外科　責任者：部長　石井義輝 聖マリアンナ医科大学皮膚科　責任者：主任教授　門野岳史 東京大学大学院医学系研究科　責任者：教授　仲上豪二朗 分担者：志村知子 石川県立看護大学　責任者：教授　紺家千津子 分担者：北村言、真田弘美 新潟大学大学院保健学研究科　責任者：准教授　横野知江 千葉大学大学院看護学研究院　責任者：教授　横田慎一郎 研究顧問 医療法人社団赤石会赤石病院　館正弘
研究期間	倫理委員会承認及び機関の長による承認許可日～2030年3月31日
対象となる方	2025年10月１日から10月31日の間に褥瘡の治療・ケアを受けた方
当該研究の意義・目的	日本褥瘡学会の実態調査委員会では、2006 年より過去 4 回にわたり全国の病院、介護保険施設、在宅（訪問看護ステーション）を対象に褥瘡の実態を調査し、療養別の褥瘡有病率や有病者の特徴などを日本褥瘡学会誌等で報告してきました。報告された結果は、診療報酬の新設や改定の根拠なったり、各施設の褥瘡対策の医療の質を判断する基準となったりしました。 今回は、その後の褥瘡の実態を明らかにし、医療の質の向上に寄与するための基礎的なデータを得ることを目的に、調査を行います。また、これまで調査対象に含まれていなかった 300 床未満の病院を対象施設に含めることで、より現状に近い本邦の病院における褥瘡医療の質を明らかにします。
方法および研究で利用する試料・情報について	この研究のために、褥瘡を有する療養者様に新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記研究期間中に、調査対象者様に関する診療録（カルテ）等から情報を本研究のために収集し使用させていただきます。新たな診察や検査、アンケートへの回答は必要ありません。調査は、(株)アクセライトへ委託してデータ収集と整理が行われます。収集したデータを分析するため共同研究機関に、収集した情報のデータベース（エクセルシートなど）を提供します。 **収集し提供する情報** 患者様の個人を識別することができる情報すべてを削除して、調査登録サイトへの入力または調査用紙への記載により、日本褥瘡学会へ提供します。 疾患名（ICD-10 分類）、年齢（5 歳区分）、性別、健康障害のレベル、 日常生活自立度、要介護度、褥瘡発生原因、褥瘡部位、褥瘡が発生した場所、褥瘡の病変の状態、使用している体圧分散寝具・用具、体位変換時間、栄養状態、局所治療法、危険因子、褥瘡ハイリスク因子、発生に関する因子、患者の転帰、医療関連機器褥瘡の発生部位・重症度、医療関連機器褥瘡の病変

	の状態、発生に関与した医療関連機器、医療関連機器褥瘡の発生要因 **特定されない将来の研究のための情報の使用・提供** 研究対象者から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性があります。例えば、褥瘡医療の推移を検討する目的で、過去の調査で収集した情報と合わせて日本褥瘡学会または関連学会等と共同で解析される際に利用することが想定されます。その研究を行う場合は、改めてその研究計画を倫理審委員会において審査し、承認された後に行います。
利用または提供を開始する予定日	2026年10月1日～
情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	藤田医科大学　学長　岩田仲生
利益相反について	本実態調査は、日本褥瘡学会からの調査費用で実施します。
問合せ先	施設調査担当　藤田医科大学 須釜淳子・藤田医科大学保健衛生学部 連絡先　junko.sugama@fujita-hu.ac.jp 学会調査事務局 担当者　板垣貴志 (株)アクセライト 〒113-0033 東京都文京区本郷3-5-4 朝日中山ビル5F TEL:03-6801-8103

作成日：　2026年5月28日